

授業科目：卒業研究	担当教員：各教員	研究室番号：
英語名：Graduation Thesis		
単位数：8	必須	対象学年：4
		実施時期：通年

【教育目的】

これまでに学んだ専門知識や技術にもとづいてそれぞれの研究課題の意義や重要性を正しく認識し、配属された研究室の教員指導のもとで、研究目的の明確化、問題の設定、解決方法の考案、結果の導出を自ら行い、それを発表できるような能力の育成を図る。

【教育目標】 情報システム専修コースの学習・教育目標における位置づけ：(B)-(3), (C)-(1), (C)-(2)

- (a) 各々の研究課題に関連する既往の研究を自主的に調査し、当該研究分野の工学的意義や社会的重要性を認識・理解する。
- (b) 問題の定式化と、その問題を自ら解決するための能力を身につける。
- (c) 与えられた制約下で計画的に作業を進め、まとめることのできる能力を身につけることにより、自主的かつ継続的に学ぶ力を身につける。
- (d) プレゼンテーション能力やコミュニケーション能力を身につける。

【授業計画】

研究室に配属された各学生は、それぞれの専門分野における研究課題について、教員指導のもとで研究を行う。研究は、基本的には学生一人に対し一研究課題とし、学生からの質問や方法提案に教員が助言・指導・指示等を加える形で進められる。

研究の進捗状況や作業経過報告、あるいはその後の進め方についての相談などを随時交えながら研究を進め、最終的には「卒業論文」および「卒論概要」としてその成果をまとめるとともに、発表会にて発表を行う。

【文献・教材】**【成績評価基準】**

工学部専門科目履修内規に依る ※

【成績評価方法】

成績の評価は、指導教員を含む3名の審査委員により、下記の(a)～(d)の項目について以下のような方法で行う。

- (1) 指導教員による評価 (主として評価項目(b), (c)に対する通年での評価。重みは40%)、および、
- (2) 審査委員3名による評価 (卒論および発表をふまえての、下記の教育目標(a)～(d)に関する総合評価。重みは60%)
- 教育目標(a)；(評価基準) 当該研究課題の意義や重要性を理解し、十分な調査を行っていること。
- 教育目標(b)；(評価基準) 問題の定式化や問題解決の過程において自主性が認められること。
- 教育目標(c)；(評価基準) 課題に計画的に取り組み、卒業論文にまとめること。
- 教育目標(d)；(評価基準) 与えられた時間内に論旨を明確に伝え、質問にも的確に答えられること。

【事前に履修しておくことが望ましい科目】

- ・専修コース：情報工学特別演習Ⅰa、情報工学特別演習Ⅱa
- ・応用コース：情報工学特別演習Ⅰb、情報工学特別演習Ⅱb

【この科目と関連する科目】

- ・同時期開講科目；情報工学セミナーⅠ、情報工学セミナーⅡ
- ・後修科目；なし

【教育目標を達成するための手段】

個人指導方式と、指導教員・学生間の密接なコンタクトの確保による、学生の自主性を重視した指導法の採用

【オフィスアワー】 木曜日 16 時30 分 ～ 17 時30 分

※工学部キャンパスガイド (学生便覧) または工学部HPのシラバスのページ
(http://www.miyazaki-u.ac.jp/tech/pdf/education/syllabus_h20/index.html) 参照